

小学校の「情緒障害等通級指導学級」が「特別支援教室」に変わります 平成29年度から特別支援教室での指導を開始します

現在、小学校の通常の学級に在籍している発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等）のある児童の一部は、在籍学級における授業の一部に代えて、他校に設置された情緒障害等通級指導学級で特別な指導を受けています。台東区では、全ての区立小学校に特別支援教室を設置し、在籍校で指導が受けられるように、拠点校から教員が各校に巡回する制度を平成29年度から実施することとなりました。（この制度は都内全域で平成28年度から30年度までに導入されます。）

現在の通級指導学級体制 通級指導学級設置校に児童が通級し、指導を受ける。



今後の特別支援教室体制 全ての公立小学校に特別な指導を行う教室を設置し、教員が巡回して指導する。



拠点校と巡回校グループ 拠点校でも巡回校でも指導内容は同じです。

拠点校	巡回校
大正小学校	上野小学校、金曾木小学校、千束小学校、金竜小学校
平成小学校	台東育英小学校、蔵前小学校、松葉小学校、田原小学校
石浜小学校	東泉小学校、浅草小学校、東浅草小学校、富士小学校
谷中小学校	根岸小学校、忍岡小学校、黒門小学校



●お問合せ先：学務課特別支援学級担当
☎5246-1416

連載

子供に聞かせたい、こんな話

その21

「こころざし高く」

子供たちに「夢と希望を」

ー ウォルト・ディズニー ー

皆さん、ミッキーマウスやドナルドダック、くまのプーさんを知っていますね。このひょうきんで人気者のキャラクターを考えたのは、皆さんもよく知っている「ディズニーランド」を作ったことで有名なウォルト・ディズニーという人です。

ウォルトは、子供の頃から絵をかくことが好きで、サーカスを見に行つては近所の子供たちを集めて、サーカスごっこをしたり、有名な喜劇役者の「チャップリン」の真似をしたりして、それを絵にしてみました。



ウォルトは、自分の好きなことを生かして将来はタレントか芸術家になりたいと思つていました。高校を卒業後、兄のロイと力を合わせて、ウォルト・ディズニースタジオを造つて映画を作り始めました。しかし、なかなかよい作品ができず、失敗ばかりでした。ウォルトはいつも「映画は何よりも見る人が喜ぶものでなければならぬ」と思つたので、みんなが喜ぶ作品はどうしたらできるのだろうか、スタジオのみんなと話し合いをし、いろいろ考えを出し合いました。そこで思いついたのが、動物や人形を使ったアニメーションです。作った作品の中で、ミッキーマウス主演の「蒸気船ウィリー」というアニメ映画が

多くの人々から「面白い、楽しい」という評判をもらい、多くの人が映画を見に来たので、ミッキーの人氣が急上昇しました。ところで、ミッキーマウスはどのようにして生まれたのでしょうか。

猫や犬、ウサギは、それまでアニメーションで使われていました。ある日、ウォルトはディズニースタジオのゴミ箱にいたネズミをつかまえました。カゴに入れて飼うことにしました。飼っているうちにネズミはだんだん馴れてきたので、このネズミに名前を付けようということになり、ウォルトの妻のリリーが「ミッキーマウス」と名付けました。こうしてミッキーマウスが誕生しました。映画のミッキーは、ちょっと恥ずかしそうな仕種をします。そう、チャップリンみたい。だからみんなに愛されるのです。

ウォルトのすごいところは、ネズミをはじめ、名もない動物に人間の心や感情を与えたことです。ネズミやオオカミ、ガチョウ、白雪姫と七人の小人、クマなど、それぞれが言葉を通して、喜んだり悲しんだりします。こうして世界の子供たちに夢と希望を与えたキャラクターが誕生し、世界中の子供たちや大人までもが楽しめるアニメーションが完成しました。

皆さんも、ウォルトのように、失敗しても夢や望みを失わず努力していけば、皆さんの夢はいつか実現するでしょう。

（ボブトーマス「ディズニー伝説―天才ウォルトと賢兄ロイの企業創造物語」…小学校1〜3年生用「こころざし教育」読本に掲載したものを一部加筆修正）

お問合せ先…教育支援館
☎5246-5921